



げんき



ほけんだより

NO. 50

H24. 11. 30

川本南小学校保健室

今年の冬は、インフルエンザの流行が早いかもしれません！

本校では、まだ、インフルエンザの報告はありませんが、近隣の学校では、早くもインフルエンザによる学級閉鎖が出ました。例年、1月に入ってから、流行の兆しが見えてくるのですが、今年はかなり早い流行のスタートとなりました。

川本南小は学級閉鎖にならないように、【石けん手洗い】・【うがい】・【マスク】でウイルスを寄せつけないようにしましょう。



5月のほけんだよりでお知らせ済みですが・・・もう1度、お知らせします。

インフルエンザの「出席停止期間」が変更になっています！

平成24年4月1日から学校保健安全法施行規則の一部が改正され、インフルエンザの出席停止期間が、「解熱後2日を経過するまで」から、

「発生した後5日を経過し、

かつ解熱した後2日を経過するまで」に変更されています。

これは、インフルエンザ治療薬により早期に熱が下がってしまっても感染力は残っている、という理由によるものです。

感染拡大防止のため、出席停止期間は必ず、守ってください。

そろそろ、こちらも気になります！

冬の感染症 代表選手ナンバー2は「感染性胃腸炎」



激しい嘔吐や下痢などを起こすノロウイルスなどによる『感染性胃腸炎』は、例年、11～12月ごろから流行り出します。ウイルスがわずか10～100個、体内に入っただけでも発症するほど感染力が大変強い病気で、出席停止になります。インフルエンザと同様に、予防に力を入れなくてはなりません。

感染性胃腸炎の予防で最も大切なことは、**石けんを使ったていねいな**

《手洗い》です。***外出した後 *食べる前 *トイレの後**（特に、**大勢の人が使うトイレは要注意！**）は、**必ず、石けんを使って、ていねいに手を洗ってください。**



石けんを使って、ていねいに手を洗うことは、多くの感染症の予防になります。家族全員で、手洗いの習慣をつけましょう。

朝から体調が悪い場合には、登校を見合わせてくださいますよう、お願いいたします。

やくぶつらんようほうしきょうしつ おこな 薬物乱用防止教室 を行いました



11 / 19 (月)に6年生を対象に『薬物乱用防止教室』
を行いました。今年度も埼玉県警察本部生活安全部少年課
の非行防止指導班『あおぞら』をお招きしました。覚醒剤、
大麻、MDMAなどの脳や心と体をボロボロにする悪い
薬物は、たった1回の使用でも脳がその時の興奮を覚えて
いて、また使いたくなくなってしまいます。そのため、法律で厳
しく規制されています。



酒やタバコは薬物の入り口になっています。酒やたばこ、
そして、薬物（あやしい薬）に誘われたときには、①「は
っきり断る」②「その場から逃げる」と教えていただきま
した。



じっさいにげき
実際に劇でやってみました⇒⇒⇒

誘われやすい人は、子ども同士でゲームセンターに出か
けたり、夜のコンビニに出かけるなどの夜遊びをしたりす
る人だそうです。

やくぶつ さぞ おほ 薬物の誘いにのらないために、覚えておいてほしいこと

- ①酒とたばこが薬物の入り口になる
- ②子どもがねらわれている
- ③薬物を使うと心と体がボロボロになる
- ④決まりやルールを守る

悪いことをしたり、薬物をやったりすると、自分の夢をかなえることが
できなくなります。そこをしっかりと考えられる人になってほしいと、警察
の方は力強く語っていました。



ねんせいじどう かんそう 6年生児童からの感想

未成年のうちは、たばこやお酒は
やめようと思えます。悪い誘いは
絶対に断ります。悪い誘いを受けな
いように夜遊びをしないで、ルール
を守ろうと思いました。

薬物乱用の入り口は、お酒やたば
こということを知りました。薬物を
使ってしまうと、自分が将来やりた
いことができなくなってしまうの
で、誘われたら、きっぱりと断りた
いと思いました。

かた かんそう おうちの方からの感想

思春期から成人になるまでに、い
ろいろな誘惑があると思うが、自分
でしっかり判断していける心と
知識を身につけ、成長していってほ
しいと思えます。家庭でも団らん
の場などで話をしていきたいです。

この学習で、薬物の恐ろしさや
乱用してはいけない理由がよくわか
ったと話していました。自分自身が
しっかりして、断る勇氣が必要だと
わかってもらえて良かったです。